



訓練風景

震災を教訓に!

TEC-FORCEを 近畿へ派遣!!



中国地方整備局では、台風12号による近畿地方での被害に対し、災害の調査や地元自治体への支援等の災害対応のためTEC-FORCEを派遣しています。

太田川河川事務所からも、計6名の職員が近畿地方に派遣されました。(9月27日現在)

※TEC-FORCEとは、大規模自然災害が発生した(又は発生する恐れがある)場合、本来地方公共団体等が行う災害応急対策(被災状況の迅速な把握、被害の発生及び拡大の防止、被災地の早期復旧等)に対し、国土交通省という全国組織のメリットを生かし技術的な支援を実施するために結成されたものです。

太田川河川事務所では、大規模地震や津波による災害に対して、迅速かつ正確な災害対策業務を遂行することを目的とし、今年度は東日本大震災を教訓に津波被害も想定した地震津波対策訓練を9月1日に実施しました。

訓練は、9月1日午前8時に管内で震度6弱の地震(潮岬沖を震源とする東南海・南海地震)が発生、その後広島湾に1m程度の津波が到達し、被害が生じたという設定で訓練を実施しました。

東日本大震災以降も7月の新潟・福島豪雨、9月の台風12号(奈良県、和歌山県等で甚大な被害が発生)や15号などが発生しております。

各地で洪水や土砂災害が発生しております。

太田川河川事務所では今回の訓練を活かし、地域の皆様の安全・安心を守るという使命を果たしていきます。



■ 主な訓練内容

- ・ 地震発生に伴う国土交通省職員の参集訓練
- ・ 災害対策支部の設置等、初動体制確立に向けた訓練
- ・ 堰や水門、堤防などの河川管理施設の点検と被災状況の報告訓練
- ・ 地震により堤防が沈下し、津波により浸水被害が生じたと仮定して、被災状況に応じた応急復旧対策の検討訓練
- ・ 被災状況や復旧作業状況の情報伝達のため、Ku-SATを用いた画像伝送訓練

地震津波対策訓練を行いました

土砂災害から守る！ 砂防施設の整備を推進中

広島西部山系では、平成11年6月29日、大規模な土砂災害が発生しました。この災害を契機に、平成13年度より、土砂災害から人命や資産、主要交通網（山陽自動車道、山陽新幹線等）を守ることを目的とした砂防事業を展開しています。

平成23年度は、五月が丘地区、宮内、明石地区、緑ヶ丘地区など16地区で砂防施設の整備を推進しています。



あさひが丘4号砂防堰堤工事（堰堤部コンクリート打設）



宮内2号砂防堰堤 掘削前

宮内2号砂防堰堤 掘削後



広島西部山系直轄砂防区域

大雨時は情報確認をこまめに！

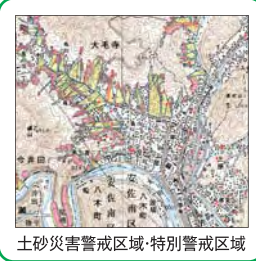
土砂災害から身を守るためには、日頃からの備えと心がけが大切です。大雨が降り始めたらず、気象情報をこまめに確認しましょう。テレビやラジオだけでなく、インターネットも利用すればより詳しい情報が手に入ります。



日頃から確認！



土砂災害危険箇所図



土砂災害警戒区域・特別警戒区域

「土砂災害ポータルひろしま」というサイトでは、県内の雨量、土砂災害の危険度などをチェックできます。正確な情報を入力して、早めに避難の準備や避難行動をしましょう。

「土砂災害ポータルひろしま」から、各情報へアクセスできます。
<http://www.sabo.pref.hiroshima.lg.jp>



雨が降ったら
まずは確認！



広島県防災Web



土砂災害危険度情報



土砂災害警戒情報

汽水域の環境を守るために

「太田川生態工学研究会」を開催

7月8日、「太田川生態工学研究会」を開催し、旭橋下流の太田川放水路に平成21年度末に造成した人工干潟のモニタリング結果の報告と今後の調査について意見交換を行いました。同研究会は、福岡 捷二代表（中央大学研究開発機構教授）をはじめ、各分野の研究者が連携し、海水と淡水が混じり合う汽水域の環境の保全や再生を目指して、調査・研究を行っています。

今年度も引き続き調査を行うとともに、結果については、11月22日に開催予定の発表会などで広くお知らせする予定です。



5月19日に開催された応用生態工学会第3回全国フィールドシンポジウムでの人工干潟視察状況



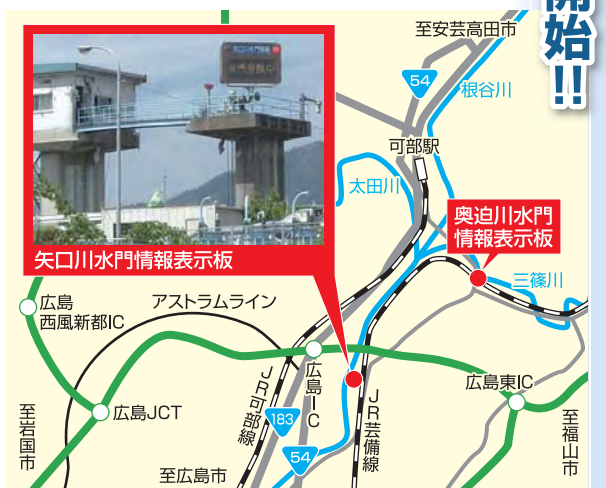
研究会の様子

情報表示板の運用を開始!!

8月31日、台風期を前に、矢口川水門、奥迫川水門において操作状況や水位情報を表示し、地域の皆様にお知らせする情報表示板の運用を開始しました。

矢口川水門では太田川、奥迫川水門では三篠川の水位が上がり水門を全閉した場合に、「宅地側の水位○.○m」と「水門全閉中」を交互に表示します。

洪水時の避難や水防活動に役立てていただきたいと思います。



矢口川水門情報表示板



出前講座・続々と実施中!



東野地区自主防災会



久地小学校 (土石流模型実験装置を使った出前講座)



中区子どもまつり (降雨体験機を使った出前講座)



上中調子町内会

太田川河川事務所では、「犠牲者ゼロを目指して」を合い言葉に、洪水や土砂災害など、いざというときに役立つ防災情報を学ぶ出前講座を実施しています。

大勢の方が参加するような地域イベントや防災訓練から、小学校の総合学習、町内会・大学サークル等の防災学習会まで、流域内なら「いつでも、どこでも、誰にでも」。ぜひご活用ください。

お問い合わせ 太田川河川事務所 総務課 082-221-2436

水難事故防止に関する太田川河川事務所の取組について

太田川河川事務所では、広島県・広島市・地元住民等で構成される「急な増水による水難事故防止策に関する意見交換会」を7月7日(木)に開催しました。

また、水難事故が多発しているため警察と合同での河川パトロールや電光表示板を用いた啓発活動(9月末まで)などを実施しています。



電光表示板を用いた啓発の様子

川や水辺にひそむ危険性を学べる「水辺の安全ハンドブック」はホームページからダウンロードすることができます。

<http://www.mizube-support-center.org/contents/handbook.html>



国土交通功労者を表彰

国土交通省では、毎年、国土交通行政に功績のあった方を対象に国土交通功労者として表彰を行っています。

このうち太田川及び小瀬川において、水門等の操作に
 水年にわたり従事されている方や今年、水門等操作員を
 退職された方に対する中国地方整備局長表彰及び太田
 川河川事務所長表彰を8月19日から26日にかけて安佐
 北区役所、安佐南区役所、大竹市役所、己斐出張所で行
 ました。今年の対象者は、勤続10年表彰は4名、勤続20
 年表彰は2名、勤続30年表彰は1名、勤続40年表彰は
 1名、退職者（水門等操作員）は12名でした。

また、7月19日に優良工事施工団体7社、優良業務
 請負団体2社、優良建設技術者2名、下請企業2社の
 事務所長表彰を行いました。



安佐南区役所での記念写真



安佐北区役所での記念写真



大竹市役所での記念写真



水門等操作員感謝状贈呈式

河川環境をみんなで守ろう！ クリーン太田川・小瀬川を実施

「クリーン太田川」「クリーン小瀬川」は、清らかな
 水の流れと緑に恵まれた河川環境を守っていくため
 に、毎年7月の「河川愛護月間」に清掃活動を行って
 いるものです。今年は7月24日に実施しました。

当日は、夏晴れの暑い中での実施となりました。
 「クリーン太田川」では太田川流域4市3町
 から約21,000人、「クリーン小瀬川」では小瀬
 川流域2市1町の自治会や漁協関係者の方々約
 1,600人にご参加いただき、河川敷に散乱する空
 き缶やビニール袋などのゴミを拾い集めました。

今後も「クリーン太田川」

「クリーン小瀬川」をはじめと
 する美化清掃活動に多くの
 方の参加をいただき、美しい
 川、きれいなまちをつくり、次
 の世代に引き継いでいきたい
 と思っています。ご参加いた
 いた皆さま、ご協力ありがと
 うございました。



小瀬川での清掃風景



太田川での清掃風景

川と友達になろう！

「水辺の安全教室」で体験学習を開催

7月30日・31日、太田川河川事務所では、川を利用する際の安全意識の向上を目的として、NPO法人「川に学ぶ体験活動協議会」の講師による「水辺の安全教室」を開催しました。

「水辺の安全教室」には、子どもから大人まで約90人が参加。川で遊ぶ楽しさ、川に潜む危険、ライフジャケットの正しい着方などを学んだ後、実際に川に入って、泳ぎ方やスローロープを使った人命救助方法などを体験しました。



7月30日 小瀬川



7月31日 太田川

参加者の声

- ✓ 川の危険な場所がわかった
- ✓ 安全に遊ぶためにライフジャケットが必要だと知った
- ✓ スローロープは便利だと思った
- ✓ 川の水が冷たかった

恒久平和を願い、元安川親水テラスでとうろう流し



8月6日の夜、市内7カ所で「とうろう流し」が行われました。元安川の親水テラスでは約8000個のとうろうが川面を照らし、周辺では平和コンサートや水面上映会なども開催されました。

